



やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい

文責 校長 中島 由広

学力調査が実施されました！

「カリカリカリ・・・。」解答用紙に答えを書き込む音が、静かな教室のあちらこちらから聞こえてきます。



4月19日（火）に、3年生、4年生は市学力調査、5年生は県学力調査（教科はともに国語・算数）、6年生は全国学力学習状況調査（教科は国語・算数・理科）を実施しました。

これらは、子どもたちが学習した内容の定着度を測るために毎年この時期に実施されているものです。6年生が受けた「全国学力学習状況調査」は、結果が出る7月頃には、「〇〇県が、正答率全国1位！」などの報道があり、大きな話題になります。

学力調査を終えた子どもたちに感想を聞いてみると、「漢字を練習したのに、（漢字の出題が）少なかった。」「算数が難しかった。」という子もいれば、「全部書くことができました！」「バッチリです！」という子もあり、悲喜こもごもの結果となったようです。

これらの学力調査の特徴は、従来のテストのように一問一答式ではなく、問題の中にある様々な情報を読み解いて、それを結び付けながら答えを導き出すといったもので、大人でも「ん!？」と考え込んでしまうような形式の問題が多いということです。

子どもたちも、ずいぶんと頭を使いながら問題に挑んだのではないかと思います。

学習状況調査はクロムブックを活用



6年生は、学力調査と併せて「学習状況調査」にも答えてもらいました。この調査は、「就寝・起床の時刻」や「家庭学習の時間」、「読書の時間」など69個の質問に答えてもらうことで、普段の基本的な生活習慣や学習の様子と今回実施した学力調査の結果の関連を調べ、学力の相関関係を導き出そうとするものです。

昨年度までは、この調査は紙媒体で行っていたのですが、今年度はクロムブック（一人一台学習者用コンピュータ）を活用して実施しました。初めての試みでしたが、子どもたちの対応力の高さや担当職員の周到な準備のおかげで問題なく行うことができました。

今回実施した学力調査の結果は今年度も7月頃に出る予定ですが、山里小学校ではその結果を個別の指導に生かしたり、学校全体の学力向上対策を立てるための基礎資料として活用したりしていきたいと思っています。

また、お子様の結果については結果が届き次第、各ご家庭に個人票を配付することとしております。その結果をもとにお子様の得意な点や弱点等を把握していただき、ご家庭での指導の参考にさせていただければと思います。